

第16回 法人会全国女性フォーラム「静岡大会」の報告

「ふじのくに “地域で学び、文化でつなぐ～女性の力～」

伊野法人会女性部会副部会長 谷岡 芳子

2022年4月14日（木）ツインメッセ静岡にて

全国女性フォーラムが開催され、全国から1300名超の女性部会員が集いました。

第1部 記念講演

「ショートフィルムのチカラ」 多様性のある表現発信とメディアリテラシーの創出

俳優 別所 哲也氏

1996年6月、国際短編映画祭を日本で始めた。

「ショートフィルム。短編映画。」25分以下の映画に、広がる大きな宇宙・・・。

映画は長さではない。短くても一生の宝物になる出会いがそこにある。

静岡県島田市に生まれ、東京で学び、その慶應義塾大学時代に英語劇に出会い、その時の先輩に俳優の中村雅俊さんがおいでたそうです。そして太平洋を渡って、米国西海岸で俳優として映画デビュー。世界は、自分が志せば、広がる。冒険は自分で始めるものだ！アメリカで出会った様々な価値観と多様性。自分が何者であるのか？に向き合う時間。そして「伝えるチカラ」の大切さ。人間はモノガタル動物だ！そして、自分自身のモノガタリを伝え、分かち合おう。

情報が氾濫する時代。この情報の海原で溺れることなく、冒険を前進するにはどうしたらいいのだろう・・・。多くのモノガタリを重ね、そこにあなた自身のモノガタリを重ねそしてあるべき世界を創造する。

最後に「日本人は、モノヅクリは素晴らしいできるが、モノガタリが聞こえない、伝わってこない！」*モノヅクリからモノガタリの時代へ！*と、お話をされました。

そして、短編映画5分、10分、25分の3作品を上映してくださり、短くても中身の濃い素晴らしい作品で、とても楽しく観ることができました。

6月には原宿で、今年で24回目5,000本の作品が集まるそうです。

第2部 大会式典

・国歌斉唱、歓迎の挨拶、女性部会スローガン唱和

「わたしたち法人会女性部会は 法人会組織一員として 研修、交流を通じた
部会員の資質向上と社会への貢献をめざす法人会活動の充実に努めます」

・来賓挨拶

国税庁長官、全法連会長、静岡県連会長、静岡県知事、静岡市長等々頂きました。

全法連女連協会長 酒井 喜代子氏

法人会活動の充実・活性化への寄与に努めながら、税の啓発活動や地域社会への貢献活動に取り組んできました。女性経営者として自己啓発による資質向上を図るとともに多様化する法人会活動の担い手としても大きな役割を果たしています。特に、女性部会独自の取り組みである「税に関する絵はがきコンクール」は、平成24年度から国税庁にご後援いただき、ほぼすべての会が実施する女性部会の活動の大きな柱のひとつとなりました。毎年20万人以上の子ども達が、租税教育で学んだこと感じたことを絵はがきに描いてくれることは大きな喜びであります。昨年度より検討を始めた「食品ロス」に対する取り組みにつきましては、「私たちに何ができるのか」引き続き話し合っていきたい。そして、公益性の高い活動に取り組んで社会に貢献すること、地域の発展や活性化に寄与することがどれだけ大切なことかとお話されました。

静岡県法人会女連協会長 清水 みさ代氏

静岡は、東は伊豆半島から西は浜名湖まで東西に豊かな自然が広がり世界文化遺産の富士山、また気候にも恵まれ緑茶や桜えび、イチゴや温室メロン・温州みかん、まぐろやカツオやしらすなど美味しいものもたくさんあります。

本日の女性フォーラムが、全国の部会員との交流を通して絆をより一層深めていただく有意義な大会となりますようにお祈りいたします。

・活動事例発表

静岡県法人会連合会傘下には13の女性部会があり、「税に関する絵はがきコンクール」はもとより「租税教育」や「親子税金教育」などの租税教育活動に軸足を置いて活動しており、中でも「親子税金教育」は、小学生親子を地元の消防署・税務署などの公共施設の見学会に招待し、税の社会における役割を知ってもらう機会としています。また、様々な社会貢献活動にも積極的に取り組んでおり地元開催のイベントでは、法人会のブースを設けるなどして活動内容のPRを行っています。

第3部 懇親会

開宴の挨拶、乾杯と続きアトラクション（足久保太鼓、ちゃっきり節）で賑やかに始まりました。今年もコロナ禍で、丸テーブルに6名ゆったり座り静かにご当地グルメをいただきました。他県の方と交流はできませんでしたが、高知県他支部の方々との親睦を深めることができました。

次回開催は、愛媛県です。

・税に関する絵はがきコンクール

全法連女連協会長賞に 南国法人会

南国市立長岡小学校 6 年生 南 咲空 さんが全国応募数 245,273 の中から 12 作品に選ばれました。